

第九回 市民参加のてづくり舞台

# やる気さえあれば 何でもできると思ったら 大間違いだ！！

日本最古の農業指南書「会津農書」を題材に、  
新規就農者たちと地元住民の軋轢と共生と融和と成功を、  
演劇ならではの手法で紡ぎ出す現代会話劇。

2023 (令和5年)

日時指定  
自由席  
**7/22土・23日**

会場 **会津風雅堂** 前売1,500円 大学生以下 500円 (税込み)  
(当日券 各200円増し)

開演	7/22(土)	7/23(日)
18:30	●	●
14:00	●	●

※未就学児童もご入場いただけますが(チケット不要)、  
他のお客様のご迷惑となるときはご退席いただく場合もあります。

チケット取扱 **会津風雅堂** (窓口/電話申込み/ホームページ)/アピオスペース/栄町オサダ

## STAFF

脚本・演出 古川貴義 (箱庭円舞曲)  
 演出助手 伊藤礼子  
 舞台監督 遠藤 哲 (外部委託)  
 美術プラン 佐瀬 勉/平山賢実  
 音響・作曲 前川順弘/雪野美嶺/齋藤友美  
 照明 遠藤愛里/武田貴奈/阿久津典子/齋藤友美/清水武志 (外部委託)  
 衣装 船木秀雄/小山喬子/山内信人/武田由貴奈/星 雅人/真壁もと子  
 小道具 和田礼子/川窪栄作/遠藤愛里/賀川萌美/高野光恵/古川恵巳  
 大道具 佐瀬 勉/平山賢実/新藤英太郎/川窪栄作  
 広報・制作 阿久津典子/五十嵐りえ/佐瀬 勉/二瓶悟史/山内清史

●参加者全員がそれぞれの役割をもってスタッフとしても関わっています。

## 各小中高校、各介護施設ご担当者の皆様へ

「市民参加のてづくり舞台」では、より多くの市民の皆様にご来場  
いただきたく、車いすでの来場のご相談、学生割引、グループ割  
引、障がい者割引の対応を準備しております。詳しくはお問い合わせ  
ください。



お問い合わせは**会津風雅堂**へ

TEL.0242-27-0900 (月曜休館)

第九回 市民参加のてづくり舞台



会津文化振興基金助成事業



# コメを作る人を作る野菜を作る

## スパイスガールズ 大志を抱け農業女子たち

### コメを作る人を作る野菜を作るのは何？

脚本・演出：古川貴義 (箱庭円舞曲主宰、磐梯町出身)

# コメを作る人を作る野菜を作るのは何？



2023 (令和5年)

日時指定  
自由席  
**7/22土・23日**

会場 **会津風雅堂** 前売1,500円 大学生以下 500円 (税込み)  
(当日券 各200円増し)

主催：公益財団法人会津若松文化振興財団 共催：会津若松市教育委員会  
運営：第九回市民参加のてづくり舞台運営委員会  
後援：会津若松市/福島民報社/福島民友新聞社/NHK 福島放送局/福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/エフエム会津/ふくしまFM/ラジオ福島  
特別協賛：会津よつば農業協同組合(JA 会津よつば)



駐車場のご案内 P 会津風雅堂駐車場...140 台収容

# コメを作る人を作る野菜を作る人を作るのは何?

## 大志を抱け農業女子たち

### スパイスガールズ



佐瀬与次右衛門 (イメージ)

無農薬有機農法にチャレンジしたい、と意気込み、  
 都会から会津に移住してきて共同生活を始めた女性四人組。  
 やる気と独学だけでは当然上手くいくわけもなく、  
 地元住民や先輩移住者たちとの関係に採まれ、失敗続き。  
 そんな折、  
 日本最古の農業指南書「会津農書」とその著者、  
 佐瀬与次右衛門（らしき人）に出会い、  
 農業との向き合い方に変化が生まれる。  
 それは同時に、地域や社会との向き合い方、  
 ひいては自分の人生との向き合い方を考えることにも繋がっていく。  
 彼女たちの行動が、町の人々にも少しずつ変化をもたらし・・・。  
 新規就農者たちと地元住民の軋轢と共生と融和と成功を、  
 演劇ならではの手法で紡ぎ出す現代会話劇。

### CAST

出演者		
神津沙絵	古川 恵巳	新規就農者の女性
朝永春穂	五十嵐りえ	
卯月さくら	賀川 萌美	
蓮見哉子	和田 礼子	
日當毅臣	二瓶 悟史	地元のフリーター
木村シヨウゴ	星 雅人	就農支援の役場職員
師岡	小山 喬子	空き家を提供した大家さん
田所	高野 光恵	師岡と仲のよい女性
乾 治	新藤英太郎	先書就農者夫婦
乾 操子	雪野 美嶺	
四時さん	船木 秀雄	村中を散歩している老人
佐瀬五右衛門	川窪 栄作	四時さんの息子
尾出浩臣	山内 清史	朝永春穂の夫
箭内晴子	伊藤 礼子	経営者思考の農家
箭内典雄	山内 信人	
羽立	齋藤 友美	歌の得意な住民

### 日本最古の農業指南書「会津農書」が題材です

江戸時代中期に佐瀬与次右衛門によって書かれた農業指南書。  
 会津の農業技術を体系化し、農業技術の向上と農業知識の継承を目的に書かれたもので、  
 会津の農業の礎を築きました。「会津農書」の内容を農民にわかりやすく説明するため  
 「和歌」の形式にまとめた「会津歌農書」も残されています。  
 近年ではSDGsや無農薬有機農法の観点からも再注目されており、  
 会津農書に書かれた伝統的な農法からヒントを得て、  
 会津清酒の酒粕を肥料として土壌に施し、  
 育てたコシヒカリを「AiZ'S-RICE (アイヅライス)」としてブランド展開する等、  
 地域の魅力発信に活用されています。

### てづくり舞台の稽古風景を発信中!



### 脚本/演出

古川 貴義 (箱庭円舞曲 主宰)



1980年、磐梯町出身。会津高等学校卒業。  
 日大芸術学部在学中の2000年「箱庭円舞曲」を旗揚げ。  
 以降代表として、全ての作品の脚本・演出をてがける。  
 人間は、あまねく勝手に生きていく。

それ故に孤独であり、いつも誰かと食い違ふ。  
 そんな、極めて日常的な人間関係を細微に描くリアリズムと、  
 そこに漂うズレたコミュニケーションの可笑しみ、そして脳内を扶られるような感覚が人気を博している。(この物語は「会津農書」を題材としたフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。)

